

2019 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 柔道整復スポーツトレーナー | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|---------------|-----------------|--|-------------------|-----------------------|---------------|
| 科 目 名 | 一般臨床医学 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 1 (30) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年生 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | |
| 担 当 教 員 | 福井 正尚 | 実務経験と その関連資格 | 川崎病院 整形外科 福井医院 医師免許 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 柔道整復師として内科疾患を治療することはありませんが、施術のために必要になる知識です。 国家試験合格レベルを最低限として習得。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 定期試験 100% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 基礎医学の確認を行ないながら、生理学・病理学を基本として症状から一般的な治療法までを教授。 教科書内容(一般臨床医学:医歯薬出版)に応じて、教科書、スライドを使って授業を進めます。 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 教科書に沿って、医学漢字・用語の確認 国家試験に対して重要科目で、必ず必要となる総論や概論であるため、確認作業がいる科目 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 高齢者を診療対象とする柔道整復師には、一般臨床医学の内容は必須であると考えています。 勉強する内容は多いかもしれませんが、医師としての経験を交えながら、臨床に即して伝えますので頑張ってください。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 呼吸器疾患の総論または病気について説明できるようになる。 | 一般臨床医学 (医歯薬出版) | 病気の原因・症状等の復習 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 呼吸器疾患 1. 総論 2. 各疾患(かぜ症候群・インフルエンザ・急性、慢性気管支炎・肺炎・肺結核・気管支喘息等) | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 呼吸器疾患の病気、循環器疾患の総論について説明できるようになる。 | 一般臨床医学 (医歯薬出版) | 病気の原因・症状等の復習 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 呼吸器疾患 2. 各疾患(慢性閉塞性肺疾患【COPD】・肺癌・肺血栓塞栓症・気胸) 循環器疾患 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 循環器疾患の病気について説明できるようになる。 | 一般臨床医学 (医歯薬出版) | 病気の原因・症状等の復習 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 循環器疾患 2. 各疾患(うっ血性心不全・虚血性心疾患・心臓弁膜症・先天性心疾患・高血圧症・大動脈疾患・静脈疾患・不整脈) | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 消化器疾患の総論または病気について説明できるようになる。 | 一般臨床医学 (医歯薬出版) | 病気の原因・症状等の復習 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 消化器疾患 1. 総論 2. 各疾患(消化管疾患・肝胆膵疾患・腹膜疾患) | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 代謝疾患の総論または病気について説明できるようになる。 | 一般臨床医学 (医歯薬出版) | 病気の原因・症状等の復習 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 代謝疾患 1. 総論 2各疾患(糖尿病・脂質異常症・肥満症・メタボリックシンドローム・高尿酸血症・痛風) | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---|-------------------|-------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 内分泌疾患の総論または病気について説明できるようになる。 | 一般臨床医学 (医歯薬出版) | 病気の原因・症状等の復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 内分泌疾患 1. 総論 2. 各疾患(間脳疾患・下垂体疾患・甲状腺疾患・副甲状腺疾患) | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 呼吸器疾患の病気について説明できるようになる。 | 一般臨床医学 (医歯薬出版) | 病気の原因・症状等の復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 内分泌疾患 2. 各疾患(副腎皮質疾患・褐色細胞腫・性腺疾患) | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 血液・造血疾患の総論または病気について説明できるようになる。 | 一般臨床医学 (医歯薬出版) | 病気の原因・症状等の復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 血液・造血疾患 1. 総論 2. 各疾患(赤血球疾患・白血球系疾患・リンパ系疾患・出血性素因【出血傾向】・血漿蛋白異常症) | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 腎・尿路疾患の総論または病気について説明できるようになる。 | 一般臨床医学 (医歯薬出版) | 病気の原因・症状等の復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 腎・尿路疾患 1. 総論 2. 各疾患(腎不全・糸球体疾患・間質の疾患・尿路感染症・遺伝性腎疾患・全身疾患に伴う腎障害・泌尿器科的疾患) | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経疾患の総論または病気について説明できるようになる。 | 一般臨床医学 (医歯薬出版) | 病気の原因・症状等の復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 神経疾患 1. 総論 2. 各疾患(脳血管障害・腫瘍性疾患・感染性疾患・機能的疾患・神経変性疾患・炎症性神経疾患・神経免疫疾患・筋疾患) | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感染症の総論について説明できるようになる。 | 一般臨床医学 (医歯薬出版) | 病気の原因・症状等の復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染症 1. 総論(感染が成立する要因・宿主と病原体の相互関係・外因性感染と内因性感染・病原体の感染経路・感染症発症後の経過と感染形態) | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感染症疾患の総論または疾患について説明できるようになる。 | 一般臨床医学 (医歯薬出版) | 病気の原因・症状等の復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染症 1. 総論(市中感染と院内感染・日和見感染・感染症の診断・感染症の治療・感染対策の基本) 2. 各疾患(呼吸器感染症・尿路感染症) | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感染症の疾患について説明できるようになる。 | 一般臨床医学 (医歯薬出版) | 病気の原因・症状等の復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染症 2. 各疾患(腸管感染症・中枢神経系感染症・皮膚感染症・整形外科的感染症) | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感染症の疾患について説明できるようになる。 | 一般臨床医学 (医歯薬出版) | 病気の原因・症状等の復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染症 2. 各疾患(性行為感染症・その他) 環境要因による疾患 (熱中症・一酸化炭素中毒) | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 内科的疾患について総合的に理解し、説明できるようになる。 | 一般臨床医学 (医歯薬出版) | 病気の原因・症状等の復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | まとめ・前期試験 | | |